

これであなたも防護柵マスター👍

防護柵の種類と特徴

防護柵をしたいけど、どの柵を選べば良いんだろう？



2026
1
Vo.54
鳥獣センター通信
発行元 鳥獣被害対策支援センター
☎0985(44)1816

	障壁によって侵入を防ぐ 物理柵	学習効果によって侵入を防ぐ 心理柵
種類	<ul style="list-style-type: none">ワイヤーメッシュ柵金網柵ネット柵トタン柵 ほか	<ul style="list-style-type: none">電気柵 (複合柵を含む)
特徴	<ul style="list-style-type: none">対象とする動物によって高さを調整するよじ登る能力が高い動物には不向き	<ul style="list-style-type: none">対象とする動物によって電線の段数を調整する電圧の維持管理が必要



ワイヤーメッシュ柵



ネット柵



トタン柵



電気柵

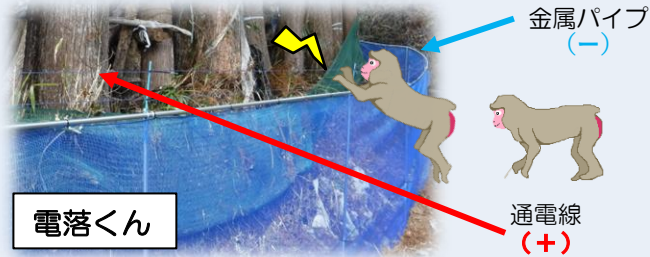
電気は痛くて怖いよぉ



中・小型獣対策の複合柵

ネットの高さが高く、サル被害対策にオススメ！

コスト★★ 設置労力★ 維持管理★



電落くん

防風ネットと金属パイプを組み合わせ、その上に通電線を張ったものです。アナグマ、タヌキだけでなく、サルにも対応できます。

低コストでアナグマ、タヌキ、イノシシ対策をしたい！

コスト★★★★ 設置労力★★ 維持管理★★★

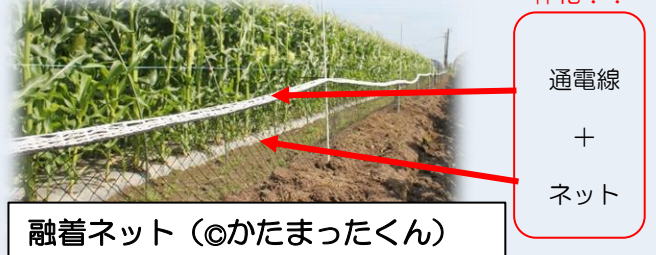


楽落くん

楽落ネットの上に通電線を張ったものです。通電線が絶妙な高さにあることで、動物の探查行動を引き起こし、障害物を警戒しやすくなります。

短時間でアナグマ、タヌキ、イノシシ対策をしたい方に！

コスト★★ 設置労力★★★★ 維持管理★★★ 一体化！！

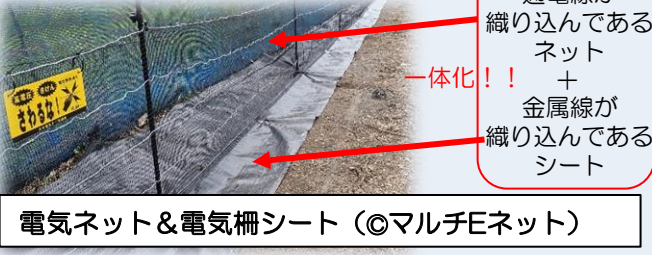


融着ネット (©かたまったくん)

通電線と樹脂ネットが一体となっているため、設置時間を短縮できます。

地際対策をしっかりと！維持管理の手間も省きたい！

コスト★ 設置労力★★ 維持管理★★★★



電気ネット&電気柵シート (©マルチEネット)

電気柵ネットと電気シートが一体となっているため、ネット下からの動物の侵入を防ぎます。防草効果もあり、維持管理が楽になります。

どの防護柵も設置後の管理は必須です！！草刈りなど周辺環境を整えましょう。
また、柵設置後の地際や接合部分に隙間ができないように注意しましょう！



☆鳥獣被害対策地域特命チームだより☆

北諸県地域



研修会

都城市では、鳥獣等による農作物の被害は減少傾向でしたが、令和5年度は前年よりも増加に転じました。近年、被害防止柵の設置要望が増えており、年間整備距離が令和4年度が15.4km、令和5年度が16.4km、令和6年度が47.5km、令和7年度が95kmと年々伸びています。そこで、令和7年12月15日に柵の設置や、集落をエサ場にならないための研修を都城吉之元町田野地区で開催し、当地区から22名の農業者が参加されました。研修では、当振興局から、都城市における鳥獣被害の現状と国の交付金を活用する上での注意点について、都城市から柵設置の工期や、設置後に必要な提出書類等について説明を行いました。



ワイヤーメッシュ柵設置研修

また農業改良普及センターからは、集落全員が一致協力して対策を実施することで効果が高まることを説明しました。鳥獣被害対策支援センターからは、「鳥獣被害対策の基礎知識」と「ワイヤーメッシュ柵の設置・維持管理のポイント」と題して、効果的な柵の設置方法や設置後の雑草管理等の要点を説明しました。現地研修では、資材メーカーの担当者を講師に迎え、実際にワイヤーメッシュ柵の設置作業を行うとともに、設置作業研修後に集落点検を行いました。集落点検では鳥獣被害対策支援センターから、イノシシの潜み場を解消するために緩衝帯を設置した方が良いといったアドバイスがありました。今後、各集落においてこの研修会で学んだ手法を活かした柵の設置が進められ、対策を実践することで鳥獣被害が減少することを期待しています。

東臼杵（南部）地域



梨園での対策指導

東臼杵南部地域での鳥獣被害は、近年減少傾向にあります。が、一部で突発的な被害が見られるため、様々な対策支援活動を行っています。

①美郷町西郷の梨園での猿害対策

当該地域では、サルによる被害が甚大で、ワイヤーメッシュ柵の上部に電気柵を設置しても侵入されるという状況でした。そこで、6月に県鳥獣被害対策支援センターの鳥獣害担当専技を招聘し、生産者4名、役場職員等関係者7名が出席し、現地調査・対策指導を実施しました。樹木の伐採によるサルの侵入防止など、対策のポイント等について指導があり、参加者からも質問が多数行われ、改善策の具体的なイメージが共有できた有意義な活動となりました。



飼料作ほ場の被害の状況

②美郷町北郷の飼料作ほ場でのイノシシ被害対策

当該ほ場では、現地実証展示の品種選定を行っており、11月に播種を行いました。11月には、イノシシによる広範囲な掘り返しの被害を受けました。そこで、状況を確認したところ、周囲を電気柵で囲ってはいませんが、電源装置の不備で通電していませんでした。電線交換し、急遽機器を交換する措置をとりました。また、ガイシの向きや電線の高さ等に不備が見られたことから、園主に改善策を提案しました。その後の調査では被害は見られず生育も順調ですが、監視を継続しています。

今後、関係者と連携し、鳥獣被害対策活動を進めていきます。